

南月山&茶臼岳山行報告

【山行日】2025年9月28(日) 曇り後晴れ

【集合】栃木市運動公園P AM 6:00

【費用】マイカー2台 : 2,900円

【メンバー】CL:鈴木、SL:岸、

青柳、飯口、伊藤、猪瀬、植竹、大塚、佐藤、

嶋田、田崎、根本、福島、吉田

【コースタイム】栃木市運動公園 P6:00=峠の茶屋

P7:20/7:40~RW 山麓駅 7:50/8:30++RW 山

頂駅 8:40~牛ガ首 9:00/9:10~南月山 9:40/10:00

~牛ヶ首 11:00~朝日岳 11:45/11:55~

朝日岳の肩 12:00/12:35~峰の茶屋 13:00/13:10~峠の茶屋 P13:40/13:50=柏屋 14:20/14:35=

道の駅「友愛の森」14:40/15:00=栃木市運動公園 P16:05

茶臼岳に登りたいと言うリクエストがあり、茶臼岳だけではつまらないで南月山と併せて計画した。この時季はロープウェイ駐車場が混むので、1時間待つのを覚悟で6:00に栃木市運動公園を

出発する。ロープウェイ駐車場に着くとロープが張ってあり、駐車場には入れない。係員に聞くと「運行時間の30分前にならないと空けないので、大丸駐車場で待機し8:00に来てください」との返事。仕方なく大丸駐車場に向かったが、途中で峠の茶屋駐車場に止められるのではと思い Uターンしてダメ元で峠の茶屋に向かう。上の大きな駐車場はすでに満車になっていたが、すぐ下の駐車場は空いており係の人に案内され止めることが出来た。こちらに止めたほうが帰りは楽な

ので、超ラッキーだと思った。出発の準備を整えたら出発し、遊歩道を下って RW 山麓駅に着く。

10分待つと扉が開き駅の中に入ることが出来た。

30分待ってロープウェイが出発し、山頂駅に予定通り到着する。ストレッチを行なつたら出発し、ザレた広い登山道を進み、茶臼岳への道を右に分け左に緩やかに下って行く。ガスが掛かっていて視界はほとんど無く、せっかくの景色は見ることが出来ない。天気予報は晴れで行楽日和になると言っていたが、ガスっていて陽射しが無く風もあるので肌寒い天気だ。牛ガ首に出て休憩したが展望は無く、風が有るのですぐに南月山へ向かう。南西に

延びる細い稜線を進み、岩場をロープで越えるとミネザクラの間を緩やかに登り日の出平に着く。

さらに平坦な道を進んで黒い火山岩の広場を横切り、火山礫の斜面を登ると南月山に着く。



山頂のベンチで休憩し、大塚さんお手製のシフォンケーキや菓子をいただく。ガスっていて展望は無いが、皆さん祠や三角点が置かれた場所に行く。戻ってきたら山頂標識の前で記念写真を撮り、



往路を牛ガ首まで戻る。晴れていれば噴煙たなびく茶臼岳が正面に聳え、絶景を見ながら下る爽快なコースだが真っ白で何も見えない。牛ガ首からは峰の茶屋に向かい、茶臼岳の西側斜面を巻くように付けられた道を進む。水蒸気が噴き出している無間地獄を通り、巻道を進むと北側の山々が見えてきた。茶臼岳まではガスが掛かっているが、三本槍岳や流石山や三倉山方面は晴れている。明るい景色を見ながら歩き、峰の茶屋まで来ると朝日岳は晴れて山頂が良く見える

る。振り返って茶臼岳を見るとガスの中で、山頂は見ることが出来ない。ここで皆さんと相談する。茶臼岳に登っても展望は得られないが、朝日岳は晴れているので朝日岳に変更して登りたいと。皆さんも晴れて展望が有る山に登りたいと言うので、ここから朝日岳に向かって登ることにする。ここから剣ヶ峰の岩稜を東側から巻き、恵比寿岩や大黒岩を過ぎると西側を巻いて進む。階段状に付けられた道を登って小ピークを越え、クサリのあるトラバース道を進みザレた岩場の急坂を登り切ると朝日岳の肩に出る。ベンチにザックをデボし、身軽になって朝日岳に登る。数分岩場の登りを頑張ると、1



896mの朝日岳山頂に着く。岩場の山頂は狭いが360度の大展望が得られ、皆さん朝日岳に変更して登り良かったと大満足の様子。茶臼岳の山頂部はガスが掛かっていたが、山麓に掛けては晴れていて展望が得られた。展望を楽しみ記念写真を撮ったら下山し、朝日岳の肩まで戻ってランチタイムとする。風が有るので肩から東側に少し下り、風を避けて場所を確保する。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンを美味しいいただいた。ランチが済んだら下山開始し、往路を戻って峰の茶屋まで下る。

峰の茶屋からは朝日岳を見ながら東に下り、那須岳登山指導所から左に階段状の道を下ると峰の茶屋駐車場に着く。トイレを済ませたら車を止めた下の駐車場まで行き、靴を履き替えたら車に乗って帰路につく。途中、薄皮まんじゅうの「柏屋」と道の駅「友愛の森」で買い物し、予定より1時間早く栃木市運動公園に帰着した。